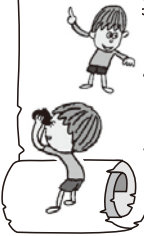




第15弾

ありがたい姿 探検記



前回のおさらい

トピック
ゼロカーボンについて

- ・「かけがえのない地球」を守るため、ゼロカーボンは1990年代から動いていた
- ・人間の影響で気候変動が起きていくという根拠が明らかに
- ・ゼロカーボンは今後も地球で暮らすために迅速に対応しようという意思表示

先月号は、しかもかわゼロカーボン通信とのコラボ企画で、「なぜゼロカーボンなのか？」についてご紹介しました。今月は、SDGs推進アドバイザーの枝廣淳子氏が講師の、ゼロカーボン勉強会の内容をご紹介します。

「自分ごとを考える『地球にやさしい暮らしかた』とは」

今回の勉強会は、ゼロカーボン推進の第一歩として開催されました。「ゼロカーボンとは何か？」と聞かれた際にしっかりと自分の

言葉で、答えられるように勉強しました。

そもそも論

地球温暖化の影響は？

今、最も切迫している地球環境問題。その影響は日本で大きく、「数十年に1度」の豪雨が立て続けに起こり、水害や土砂崩れの被害が増えるなど、日常生活に支障を及ぼしています。勉強会では、「昔より暑くなった」、「フルーツトマトの管理が大変になった」など、身近で起きている地球温暖化の影響を参加者で出し合いました。

「なりゆきの未来」は恐ろしい

先月も紹介した地球温暖化の科学的根拠をまとめた報告書では、高度経済成長前（1950年）と比べて世界平均気温が既に1℃以上上昇しており、最悪の場合、2100年には最大で5.7℃上昇すると予測されています。気温の上昇でさらに災害は増え、私たちの生活も危うくなるため、こうした事態を防ぐべく、気温の上昇を全体で抑えるために世界各国では

「パリ協定」という約束が、世界の自治体では「ゼロカーボンシティ」を宣言し、課題に向き合っています。

犯人は誰？

温暖化の犯人は温室効果ガスです。その排出量のうち、日本で最も多いのがCO2です。CO2は主にエネルギーをつくる化石燃料から出ています。私たちは電気、暖房や移動のためにエネルギーを使っており、温暖化が進んでいる現状の責任者です。近年、「温暖化」だけではなく、自然災害、海面上昇など、色んな悪影響があることから、「気候変動」という言葉が使われています。なりゆきの

未来を変える鍵はエネルギーです。省エネや節電、CO2を出さないエネルギーに切り替えるなど、「減らして、替える」ことが重要になります。

今月は、町民勉強会を振り返りました。この勉強会では、ゼロカーボンが「近年騒がれている」、「町が宣言したもの」という他人事ではなく、自分事に落とし込み、納得した上で取り組みを進める必要性を学びました。私たちの住む地球と向き合い、地球人としてできることに取り組んで行きましょう。

参加者の感想と今後の目標 しかもかわの『ここ』がすごい！

「森林火災を下川で起こさないため、みんなでできるゼロカーボンの取り組みがあるといい」

「CO2削減のため、自分ができることを具体的に知りたい」

「極力車ではなく、自転車や徒歩で移動したい。」



充実版は公式noteへ

